

令和2年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価は、保護者・地域住民など学校の関係者が、自己評価の結果を評価することを通じて、①自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、②学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、その連携協力による学校運営の改善を促進することを目的としています。本校では以下の様な協働型学校評価重点目標を掲げて教育活動を行っています。宮城野中学校において2月4日に行われました学校評価委員会において協働型学校評価重点目標と1年間の教育活動について評価をいたしました。

『協働型学校評価重点目標』

☆休日も含め、毎日1時間以上は家庭学習に取り組む生徒の育成

☆心のこもったあいさつや丁寧な言葉遣いで接しようとする生徒の育成

1 重点目標について

生徒・保護者学校評価アンケートより、「学校に行くことが楽しい」の項目では、生徒：85.5%、保護者：88.4%、地域18人中17人と高評価でした。

協働型学校評価重点目標に関する「毎日1時間以上は家庭学習に取り組んでいる」の項目では生徒：70.4%であり、この値は仙台市生活状況調査（6月）実施の66%よりも改善されています。しかし、保護者の結果は63.5%と親子でのずれが生じていました。「勉強することが楽しい」の項目では、生徒：60%であり、教員が楽しい授業の実施や授業力の向上などの対策を講じる必要があると思われます。

協働型学校評価重点目標に関する「あいさつをしている」の項目では、生徒94.2%、保護者90%、地域20人中18人と概ねできていると思われます。この結果に甘んじることなくさらにあいさつの活発な学校を目指していきます。

2 いじめ不登校対策について

コロナ関連のいじめ対策では、学年ごとに道徳の授業で実施しました。SNS関連のいじめ対策ではクラス毎に話し合い、ルール作り、「宮中ネット条例」にまとめました。

日常では、トラブル、いじめを発見するために「生活ノート」の活用と、「毎月の振り返り」を行いました。全市で実施した「いじめ防止サミット」に参加し、行動目標を設定しました。

「いじめ実態把握調査」より本年度23件のいじめを発見しましたが、対応しその後すべて解消しています。生徒指導日より等でのいじめ防止の啓発を行っています。

「不登校対策」では、本校は別室登校ができる「ステーション」を運営し効果を発揮しています。

3 コロナ対策について

「宮城野中学校コロナ対策メソッド」を作成し、実施してきました。メソッドは感染状況において随時更新してきました。これより3密回避、手洗いの励行、健康観察など授業、部活動における対策徹底をおこなしました。

「スクールサポートスタッフ」を活用して消毒作業を依頼しました。学校行事での感染対策は、オンラインの活用、学年ごとの分散開催、施設の活用などを行いました。

学校評価アンケートでは、本校のコロナウイルス対策について 96.4%の好評価を得ました。

4 働き方改革について

1 2月より教育課程の再編成を行い、木曜日7時間、放課後活動なし、金曜日4時間とし、放課後を「萩の名どころタイム」として有効活用しました。これにより、定時退勤の教員が増え、教職員の意識変革につながりました。

5 学校関係者評価委員の皆様から

いつもお世話になっています。コロナ禍で学校におかれましても大変ご苦労かと思いますが子供達の為にも今後ともよろしく願い申し上げます。

いじめ不登校に関して、大変良く対応され素晴らしいと思います。子供達の居場所・寄りそうというところが良いですね。

何事にも新型コロナウイルス感染症への対応が求められ、大変な1年だったと思います。先生方の工夫や生徒さんの努力によって現在、落ち着いた学校生活が送れていることは何よりです。「災い転じて福となす」と言われますが、このコロナ禍での経験や工夫を今後には是非生かして欲しいと思います。

東日本大震災にも心配されましたが、今後コロナ禍を乗り越えた後の生活にも気をつけていただきたいと思います。(いじめや不登校など)生徒さんはもちろん先生方の心のケアも大切です。協働型学校評価における重点目標については、是非近隣の小学校と連携して取り組んでください。

子供たちが毎日楽しく、学習や部活に取り組めるように例年と違う環境の中でたくさんの努力をいただいたことに感謝しかありません。保護者が学校に来る機会が例年より少ないのでPTA活動に参加しようという意識が以前に増して減ったと思います(という時代かもしれないのでPTA活動も変わらないといけなかもです。)挨拶については、何人か集まると大きな声ですが、一人だと会釈のみで恥ずかしいみたいです。たくさんのお仕事あるかと思いますが、先生方も早く帰ってください。(働き方改革です)今後とも子供たちのためよろしく願いいたします。

生徒アンケートにおいて家庭学習の1時間平均時間の問いに対し、7割の生徒が1時間以上は勉強していると答えている一方で、保護者向けアンケートでは6割早割引いた結果となっている。保護者からの意見の中でも宿題を増やしてほしいという声も散見され、学校外での学習時間にも期待を込める人が多いのだと考えます。これが塾通いの一般化につながっているのだと思いました。できることなら経済格差のない学力の向上を見込めるのが最良だとは思いますが安に宿題を増やすだけではなく家庭学習のアドバイスなどがあると参考になる生徒、保護者は多いのではないのでしょうか。

本年度はとにかくコロナ対策に追われる一年でしたが教職員の方々には実にきめ細やかな対策を講じていただき本当に感謝に堪えません。ありがとうございました。

日頃より迅速かつ丁寧な対応に感謝いたします。2月4日は仕事が休めず欠席になります。申し訳ありません。令和2年度はコロナで様々な行事が全国的に中止・延期となり子どもたちの気持ちの拠り所が

失われ、心身ともかなりのダメージがあった事、親としてとてもやるせない気持ちでいっぱいでした。しかし宮中の柴田校長先生をはじめ諸先生の「制限ある中でも出来る限りのことをやろう！！」という行動のおかげでのびのびと嬉しそうに（資料の写真を見てもそれをうかがえます）している様子に感謝以外の言葉が浮かびません。まだ 2 か月ありますが子供たちはもちろん親にも思い出に残る良い年度でありますようよろしくお願いいたします。